

平成 28 年 11 月 8 日

鹿児島大学病院 眼科 で

網膜硝子体疾患の手術を受けた患者さんおよびご家族の方へ

(臨床研究に関する情報)

鹿児島大学病院眼科では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の診療記録等をまとめる研究です。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究について詳しくお知りになりたい時や、研究への参加を希望されない場合は下記の「お問い合わせ先」へご連絡ください。

【研究課題名】

裂孔原性網膜剥離の手術成績の検討（観察研究）

【研究機関】

鹿児島大学病院
感覚器センター 眼科

【研究責任者】

鹿児島大学病院
感覚器センター 眼科
教授 坂本 泰二

【研究の目的】

裂孔原性網膜剥離は自然に治る見込みは少なく、放置すると失明につながる疾患です。治療には手術が必要となり、網膜復位術や硝子体手術があります。また再発すると視力低下につながる場合があります。裂孔原性網膜剥離の手術には大きく網膜復位術と硝

子体手術があります。いずれも20年以上前から行われている手術ですが、手術の器械や術式の進歩による手術方法の変化もあります。本研究では長期間の手術成績を比較し、治療成績が向上しているかどうかや、病気の特徴と視力の関係などの関係などについて調べます。

【研究の方法】

病院に保管されている手術記録、診療録を調査して、裂孔原性網膜剥離が治ったかどうか、治療後の視力の経過などを調べます。

●対象になる患者さん

平成13年4月1日から平成28年8月31日までに、鹿児島大学病院眼科で網膜硝子体疾患（裂孔原性網膜剥離、糖尿病網膜症、黄斑前膜、黄斑円孔など）と診断され、手術を受けられた患者さんを対象にしています。

●診療録（カルテ）から利用する情報

診療録、手術記録から以下の情報を利用します。

網膜復位

視力と眼圧の変化（術前、術後1ヶ月、術後3ヶ月）

眼底所見、光干渉断層計による網膜所見、合併症

【個人情報の取り扱いについて】

研究で使用する診療情報は、患者さんの氏名や住所など、患者さんを直接特定できる個人情報を削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌などで発表することがありますが、その際も患者さんを特定できる情報は使用しません。

【研究の資金源等、関係機関との関係について】

この研究は、鹿児島大学大学院医歯学総合研究科眼科学分野の研

究費（使途特定寄附金）で実施します。この研究は、研究者が独自に計画し、実施します。研究費の一部には企業等からの寄付金が含まれていますが、広く学術を振興するためのものであり、この研究を特定したものではありません。企業等の第三者からこの研究のための寄付や労務提供は受けていませんので、利害の衝突は発生しません。

【参加を希望しない患者さんへ】

この研究に参加を希望されない場合は、下記問い合わせ先までご連絡ください。あなたに関するデータを削除します。ただし、学術発表などすでに公開された後のデータなど、患者さんまたはご家族からの撤回の内容に従った措置を講じることが困難となる場合があります。

【問い合わせ先】

〒890-8520

鹿児島市桜ヶ丘 8 丁目 35 番地 1 号

鹿児島大学病院 感覚器センター 眼科

医員 大塚 寛樹

電話 099-275-5402 FAX 099-265-4894